

各位



2022年5月13日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：取締役 兼 グループ執行役員 植松崇夫

(TEL：03-5339-2109)

**2022年3月期通期業績予想と実績との差異
及び法人税等調整額（繰延税金資産）に関するお知らせ**

2021年12月20日に公表いたしました2022年3月期の通期業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額（繰延税金資産）の計上について

現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当期において法人税等調整額（益）309百万円を計上することといたしました。

2. 2022年3月期の通期業績予想と実績との差異

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	14,750	150	300	500	50.53
今回発表予想	16,011	344	553	958	100.02
増減額	1,261	194	253	458	
増減率	8.5%	129.3%	84.3%	91.6%	
前期実績	13,324	21	70	△130	△13.25

3. 通期業績予想との差異の理由

2022年3月期の実績について、デジタルマーケティング関連事業において、デジタルマーケティングツール「Cloud CIRCUS」の拡販が堅調に推移したことに加え、特に、ITインフラ関連事業において、2021年11月1日に事業譲受を行ったスターティアリード株式会社が顧客拡大に伴い、前回公表の連結売上高から5%程度拡大に寄与したこと、また、マーケティング部門を主体とした顧客データの整理、分析を行い、主要商材の積み重ねと、パートナー営業が好調に推移したことにより、当事業の主力商材であるMFP（複合機）および、ネットワーク機器を中心に売上高が増加し、ITインフラ関連事業のセグメント利益が社内予想から20%程度増加いたしました。

また、CVC関連事業において、2022年3月に投資先1件の株式売却を行ったことで売上、利益共に63百万円増加いたしました。

上記増収増益に加え、持分法適用関連会社の業績が好調に推移したことなどにより、経常利益も増加いたしました。

更には、前述の繰延税金資産を計上したことによって、親会社株主に帰属する当期純利益も増加いたしました。

その結果、売上、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにおいても2021年12月20日に公表いたしました業績予想を上回る結果となりました。

（詳細は、本日発表の「2022年3月期決算短信」「2022年3月期決算補足資料」をご参照ください。）

以上